



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 7. 12

1, 2年生用 夏号



夏休みは自分の進路を考える良い機会

夏休みが近づいています。1, 2年生の皆さんにとって自分のこれからの進路について考えるのはまだ先のことのように思われるかもしれませんが、多くの人にとっては、いざ卒業学年を迎えてもなかなか進路を決め難いものです。しかし、**進学するのか就職するのか、どんな職業に付いてみたいと考えているか**程度は徐々に煮詰めていく必要があります。しかし、ただ漫然と頭の中で考えているだけではなかなか煮詰まりません。夏休みにずく出せ修行やアルバイト等**具体的職業体験を通じたり、学校見学会に参加する等、具体的に見たり体験することにより徐々に心の整理が出来る**ものです。その意味でもこの夏休み中は自分のこれからの進路について意識的に考え、何か行動を起こして欲しいものです。なお進学、就職に関わらず出来るだけ早くから勉強しておけば良かったと思う時が必ずあります。その時後悔しないためにも基礎学力を付けるよう努めて欲しいものです。

★就職希望者へ <基礎学力をつけよう>



3年前のリーマンショック以来、ヨーロッパの経済不安も加わり、急激な円高等により就職戦線は厳しさを増すばかりです。今やこの厳しさが回復する見込みが立っていません。**皆さんが卒業する頃に景気が大幅に回復する可能性はほとんどない**と断言してもよいでしょう。日本を取り巻く環境には明るい見通しが立たない状況です。

今年の求人はいっこうに伸びず、未だ就職希望者の半分程度の求人しかありません。この先どこまで求人が伸びるのか、はたして卒業時に希望者全員の進路保証が出来るのか心配です。

企業は厳しい国際競争力にさらされ、海外シフトが加速化し、日本国内での求人が益々少なくなっています。その結果、企業にもゆとりがなくなり「**優秀な人材は欲しいが、中途半端なものはいらない**」ということになってしまいます。就職試験時に他校の生徒との競争に勝てないものは、就職が出来ません。その結果、卒業時に誰でもが就職出来る時代ではなくなってしまったのです。**勉強が嫌だから就職では困ります。企業に入った方が勉強が必要**になります。

1, 2年より**基礎学力をしっかりと付ける努力を重ね**ていないと困るのは皆さん自身です。また人との**コミュニケーション能力**に欠ける人は実際の就職試験でも不利です。**皆さんにはまだ時間的余裕があります。卒業時までには是非自分の弱点を克服するよう心がけましょう。**



◆進学希望者へ <オープンキャンパスに参加しよう>

夏休み中に多くの大学や専門学校でオープンキャンパスを開いています。それらは、1, 2年生も参加できます。最近では1, 2年生の参加が3割くらいあるそうです。無料送迎バスが用意されているところもあります。進路室にもそうした資料がありますし、インターネットで調べることも可能です。進学を考えている人は卒業学年になってからではなく、**出来るだけ早い段階からこうしたものに参加し、実際の学校の雰囲気や学科の内容等を具体的に体験し自らの体で感じてくると、より進路に対しての自分の思いが煮詰まってくる**でしょう。是非検討してみてください。進学者がAOや推薦で入学しても、入学後付いていけないということもあり得ます。進学者も夏は読書や基礎学力を付ける勉強をしましょう。

